

学校だより 3月 NO.11

http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/ 広島市立船越小学校 平田健三

土筆

土筆の頭が道案内しています
あっちが春
こっちはまだ冬 なんて

内緒ばなしも聞こえます
あっちの人はやさしそう
こっちは人はこわそう なんて

詩 石川敏夫 絵 中村知文



(花言葉は 驚き)

いよいよ本年度も最後の月を迎えました。夜明けも日増しに早くなり、子どもの登校時間帯には太陽もサンサンと降り注ぎ心まで明るく照らしてくれます。子どもたちは通学路のここかしこで保護者、地域の方たちに温かく見守られる中、安全に元気よく登校しています。子どもの登校時刻が早くなっており、遅刻する子どもが少なくなりました。明るいあいさつができる子どもも本当に多くなってきました。これも保護者や地域の方たちのおかげだと心より感謝いたしております。また、この一年間の本校教育の推進に多大なるご支援、ご協力を賜りました保護者・地域の皆様に心より厚くお礼申し上げます。締めくくりの3月、さらに気を引き締め、教職員一丸となって教育活動に専念してまいりたいと思います。

本年度最後の授業参観、懇談会には多数お越しいただきありがとうございました。この一年間の子どもたちの成長を実感された保護者の方も大勢いらっしゃったのではないのでしょうか。特に6年生は卒業前の小学校最後の授業参観ということもあり感慨もひとしおではなかったかと推察いたします。

3月6日(火)の午後には、6年生を送る会を行います。今、1年生～5年生が学年ごとに一生懸命練習しています。いろいろと準備しています。6年生に喜んでもらおうと。6年生に感謝の気持ちを表そうと。これまでの6年生のがんばりが、やさしさが、在校生の目に、心にしっかり焼きついているはず。だから、6年生を送る会では、それぞれの学年が、在校生みんなが心のこもったすてきなプレゼ

ントを届けることでしょう。

本年度の学校協力者会議委員は次の方たちをお願いいたしました。船越小学校の学校経営、教育実践に対する的確な評価や貴重な提言を頂戴いたしました。今後の学校改善に生かしていきたいと思っております。1年間誠にありがとうございました。

下岡正行	船越公民館運営委員長	大原典子	船越幼稚園園長
上松敏郎	船越地区社会福祉協議会会長	世羅智子	船越公民館館長
浦田 昭	船越地区連合町内会会長	岡 清二	船越小学校前 PTA 会長
朝倉嘉枝	船越町婦人会会長	向井静恵	主任児童委員
小坂熙嘉	船越地区連合老人クラブ会長	稲垣潤哉	船越小学校 PTA 会長
森田 進	民生委員・児童委員協議会副会長	白倉美香	船越小学校 PTA 副会長

祝 6年生の卒業にあたって・・・(卒業文集にも私からのメッセージとして載せています)

Where there is a will, there is a way.
意志あるところに道あり

逆上がりが初めて出来たのは6年生のとき。その後、腕立て後転、蹴上がりも出来るようになり、鉄棒が大好きに。二重跳びが連続2回跳べるようになったのは、27歳のとき。1年後記録は350回まで伸びた。腕立て伏せ200回への挑戦を開始したのは、31歳の夏。1年かけて翌夏には達成。上記の英文は、私の座右の銘である。「意志あるところに道あり」。日本では、「精神一到何事かならざらん」「なせばなる」という言葉があてはまる。オリンピックに4回連続出場し、合計9個の金メダルを獲得した陸上選手カールルイスは言った。「私が世界一になれたのは、世界中の誰よりも世界一になりたいという私の思いが強かったからである」と。「だから、栄養のバランスを大事にした食事を摂った。練習の仕方を考え、工夫し、誰よりも練習した。夜は早く寝て睡眠を十分とり、疲労の回復を図った。本当に世界一になりたいと思ったから、すべての面で世界一努力したと自負している」と。私はカールルイスの言葉に共感する。逆上がりができなくて悔しい思いを味わっていた私は、絶対にできるようになってやる！と強く強く決意した。逆上がりができるようになりたいと心底思った。だから、毎朝一番に学校に行って、一人で来る日も来る日も鉄棒にぶら下がった。ある朝、ふっと体が上がった。できた！「意志あるところに道あり」、卒業生のみなさんの心に留めておいて欲しい言葉である。